※令和４年度以降入学生用

学校番号	４１０

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校「新地理総合」　（帝国書院）　標準高等地図（帝国書院）						
副教材等	自作プリント　など						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○地理総合の目標は統計やグラフ、地図を道具として“地理的”な見方ができるようになることです。そのためには、ただ用語を覚えるのではなく、なぜ？どうして？を大切にしながら学習に臨んでください。多角的・多面的な視点から考察し、自分の考えを表現できるようになりましょう。

2　学習の到達目標

① 地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けます。

② 地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養います。

③ 地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深めます。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。 ○地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	○地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。 ○考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりすることができる。	○知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた取り組みを行おうとしている。 ○地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ○日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などが深まっている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	１―１　地図と地理情報システム	１ 地球上の位置と時差 ２ 地図の役割と種類	ａ：世界地図や地球儀での表現方法ならびに日本の位置や領域についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。また地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表にまとめたりしている。 ｂ：地球上の位置に関する事柄について，緯度・経度や世界地図・地球儀や領域の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ｂ：世界地図や地球儀の利用法について，世界地図や地球儀の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ｃ：地球上の位置に関する事柄に対する関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。 ｃ：世界地図と地球儀の特徴に対する関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。	定期テスト	定期テスト レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り
	１―２　結びつきを深める現代世界	１ 現代世界の国家と領域 ２ グローバル化する世界	ａ：日本の位置と領域，日本が抱える領土問題についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。 ａ：日本の位置と領域，日本が抱える領土問題について，地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表にまとめたりしている。 ｂ：国家と領域，日本の領土問題について，地域性や歴史的背景，日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ｃ：日本の位置と領域に対する関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。	定期テスト	定期テスト レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り

※令和４年度以降入学生用

２学期	２―１　生活文化の多様性と国際理解	序 生活文化の多様性 １ 世界の地形と人々 ２ 世界の気候と人々の生活 ３ 世界の言語・宗教と人々の生活 ４ 歴史的背景と人々の生活 ５ 世界の産業と人々の生活	ａ：世界にみられる多様な文化について，基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。 ａ：地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ａ：文化の地域的な多様性についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。 ｂ：文化の地域的多様性がなぜ生じるのかについて，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ｃ：多様な文化が均一化の傾向にあることなど，現代では文化が変容しているものがあることについて関心と課題意識を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。	定期テスト	定期テスト レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り
	２―２　地球的課題と国際協力	１ 複雑に絡み合う地球的課題 ２ 地球環境問題 ３ 資源・エネルギー問題 ４ 人口問題 ５ 食料問題 ６ 都市・居住問題	ａ：さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し，その知識を身に付けている。 ａ：地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表にまとめたりしている。 ｂ：地球的な課題について，地域性や歴史的背景，日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ｃ：各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め，それらを意欲的に追究し，とらえようとしている。	定期テスト	定期テスト レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り

※令和４年度以降入学生用

３学期	３―１　自然環境と防災	１ 日本の自然環境 ２ 地震・津波と防災 ３ 火山災害と防災 ４ 気象災害と防災 ５ 自然災害への備え	ａ：変化に富んだ日本列島の自然環境，大きな被害をもたらす自然災害について，基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。 ａ：多発している日本列島の自然災害とその克服について，基本的な事柄と追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。 ａ：地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ｂ：日本列島の地形や気候と自然災害について，地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ｂ：日本列島のさまざまな自然災害と防災対策について，地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ｃ：日本列島の豊かな自然環境と近年増大している自然災害に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。 ｃ：深刻な日本列島の自然災害と防災に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，とらえようとしている。	定期テスト	定期テスト レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り
	３―２　生活圏の調査と地域の展望	１ 生活圏の調査と地域の展望	ａ：地域調査の手順や注意すべきことを理解している。 ａ：地図や統計・画像などの諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表にまとめたりしている。 ｂ：身近な地域の特徴を，設定したテーマに沿ってとらえ，明らかになったことを適切に表現している。 ｃ：身近な地域の特徴を明らかにするために，意欲的に地域調査に取り組もうとしている。	定期テスト	定期テスト レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度